

【コラム2】 〈移住者から見た中山間地域の魅力〉

浜松移住コーディネーター（元浜松山里いきいき応援隊員（引佐地域）） 井上紗由美氏

私は高校生まで過ごしていた浜松市へ、2014（平成26）年に浜松山里いきいき応援隊への応募をきっかけとして、東京都練馬区から浜名区引佐町の北部に移住しました。祖父母が天竜区に暮らしており、幼少期からよく遊びに行っていたので、中山間地域はなじみのある場所でした。

東京で暮らして改めて感じたことは、日々の暮らしが自然とともにあることの豊かさです。天竜の祖父母宅のように山水が流れ、排気ガスの影響をほとんど受けない場所で作られた野菜を食べて育った私は、東京のスーパーで買う野菜の味の乏しさに驚きました。採れたての野菜を買おうと思えば、何倍もの高いお金を払わなければならない現状を目の当たりにしました。田舎では当たり前であったことが、都会では手に入りやすく貴重な機会になっているのです。

浜松の中山間地域には昔ながらの風習や古い伝統が多く残っており、それらを直接教えてもらえる環境がありました。私も移住後に梅干し作りやしめ縄づくりを地域の方に教えていただき、それが毎年の楽しみにもなっています。

移住支援の仕事をする中で感じることは、浜松の中山間地域は買い物エリアなどへのアクセスが良く、田舎に住みながらまちへ仕事などで通うことも十分可能だということです。生活スタイルを大きく変えなくても自然豊かな暮らしができるのは、浜松の中山間地域の良さだと思います。

季節を感じながら暮らす豊かな中山間地域の魅力を、これからも多くの人に伝えていきたいと思っています。



移住当初から続く浜名区引佐町渋川地区の住民との交流
（写真中央：井上紗由美氏）